

令和4年度の全体評価：「県地域外交基本方針（第4期）」を改訂し、1年目。「ポストコロナ」時代の地域外交の幕開け

- 約2年8か月ぶりの副知事海外訪問や海外要人の受入れが進み、「対面」交流が本格化の兆し。「対面」の長所を活かし、更なる信頼関係を構築。
- オンラインと対面、それぞれのメリットを活かした青少年交流により、グローバル人材の育成に貢献。
- 浙江省友好提携40周年、西ジャワ州との覚書更新等により交流先との連携を一層強化。介護分野の研修受入れなど、双方のメリットも意識。
- 富士山静岡空港の国際線定期便（静岡-ソウル線）の運航再開や清水港の国際クルーズ船受入れ再開が実現。県内インバウンドに復活の兆し。
- 円安や物価高、人手不足が県内企業に影響。4か国で外国人材と県内企業のマッチングを支援するなど、活力取り込みで県内企業を支援。

（令和5年度に向けた課題）

- ・交流先とは友好を深める関係から、共通課題の解決を目指す関係に発展する時期。課題解決の視点からの連携強化、関係強化に取り組む必要
- ・対面交流の再開を踏まえ、青少年が世界に目を向け、将来、本県に活力を生む人材となるための取組を進めることが必要
- ・インバウンド需要の本格回復を見据え、航空・旅行会社等と連携した観光誘客や教育旅行誘致を一層推進し、県内経済の活性化につなげる必要
- ・海外の活力取り込みの一層の推進に向け、外国人材や外資系企業のみならず、留学生や外国人住民など、オール県庁で施策を展開する必要

令和5年度の方向性

日本文化の首都として、本県から日本の文化を世界に発信し、新たな交流を創出

- 世界に向けた発信強化により、「ふじのくに」のブランド力を向上
- 新たな国際関係の構築と相互理解の促進による世界平和への貢献

- ・3つの回廊（世界クラスの文化資源群、世界に誇るスポーツ・文化王国、富士山やお茶など世界での評価が高い文化群）を中心とした本県の魅力発信・創出
- ・海外の選定都市と連携した取組（全州市との共同広報、中韓メディアツアー等）
- ・東アジア文化都市の価値について、他の国・地域への伝承（駐日外交団ツアー、島嶼国会議）
- ・留学生、外国人県民を含めた県民一人一人が主役となり、地域文化を再発見する機会の創出

新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえ、交流を加速

- 関係者と連携したインバウンド誘致を推進し、空・海の玄関口を活性化
- 対面による人的交流や経済交流を、より一層活発に

- ・航空会社、旅行会社と連携した観光プロモーションや訪日旅行の支援
- ・富士山静岡空港のソウル線の増便、中国路線・台北線の早期復便に向けた働きかけ
- ・国際クルーズ船の誘致促進
- ・対面による青少年交流やスポーツ交流等、本県の青少年が活躍できる場の提供
- ・「ふじのくに通商エキスパート」と連携した「ふじのくに農芸品」の魅力発信と販路の開拓・拡大

内外の国際化を一体的に推進し、海外からの活力取り込みを加速

- 活力の取り込みと外国人県民支援の連携強化により、「外国人よし、地域よし、企業よしの三方よし」の静岡県を実現

- ・健康福祉部や経済産業部等、関係部局と連携した外国人材、外資系企業の活力取り込み施策の強化
- ・地域外交局が一体となって、外国人材の取り込みから、外国人のための環境整備・暮らしまでの課題に対応
- ・これまでに築いた、友好交流先とのネットワークを最大限に活用（中国浙江省、モンゴル国、インドネシア西ジャワ州、インド等）